

M

MUSIC LABORATORY SYSTEM TUTTI

 Renewal
Vol. 2

2003年8月10日発行

学校訪問

大谷女子大学【学校法人 大谷学園】敬称略



斉藤正義教授

音楽の楽しさを 体験させることが最も大切

大阪府富田林市にある大谷女子大学は文学部だけの単科大学で、昭和45年に幼児教育学科を設立し、幼稚園教員と小学校教員の養成にあたってきました。教職に必要な科目である音楽教育の更なる充実をめざし、平成7年には音楽館を竣工。集団ピアノ指導のためのML専用教室を新たに設置し、広いスペースにクラビノーバ48台という最大級のMLシステムが導入されました。以後集団指導のメリットを活かした多彩な授業を展開しています。

指導にあたられている斉藤正義教授はこう語ります。「幼稚園教員、小学校教員を志望するかなりの学生は鍵盤楽器の未経験者で、音楽に対する興味、関心も低い場合が多いのです。しかし現場の教育では音楽の楽しさを体験していなければ指導は困難ですから、まず音楽への興味を体得させることが重要です」。そのため斉藤教授が担当する「キーボード入門」では、弾くことを覚える前にまず歌うことを重視しています。人間が持っている声という楽器を使うことで、学生たちは自然に音楽に興味を持ち、生き生きと授業を受けるようになります。また初心者には鍵盤楽器に対して興味を持たせるには、最初から楽譜を通して弾かせるより、楽譜なしで早く実際の音楽を体得させることも重要です。幼児が「ねこふんじゃった」を好んで弾くように

鍵盤楽器に馴染ませる方が学習効果が上がるそうです。

この講義で斉藤教授が重点課題としているのは、

- (1) 導入段階では、片手または両手で楽譜なしで演奏させる。
- (2) 教材曲は、すべて幼児歌曲であるから、積極的に歌唱をさせる。
- (3) 毎時間、読譜力を体得させるためにソルフエージュ指導を行う。
- (4) 左手は、主にコードネームによる和音奏をさせる。
- (5) ML機器の利点をいかしたアンサンブルシステムを導入する。
- (6) 最終的には両手奏による弾き歌いをさせる。

特に(3)のソルフエージュは重要で、音楽の能力向上の鍵になるといいます。これらの重点課題を集団指導で実現するために、MLシステムは大いに力を発揮することになります。

初学者の集団指導で抜群の効果を発揮する MLシステム

具体的にMLシステムはどのように活用されているのでしょうか。例えば指導者がドレミで歌ったもの(階名唱)を学生達にそのまま歌わせます(模唱)。歌わせた曲を、カラービデオカメラで指導者の運指を投影したものを、6台のモニターテレビを使って学生達に見せることで、鍵盤上の位置を学習させます。実際に弾かせる際には、クラビノーバの12種類の音色を使うことで学生の興味は高まります。リズムトレーニングにおいても、クラビノーバのメトロノームを活用したり、各種のリズムセクションを使うことで、学生達は生き生きとした状態でリズムを体験す

ることができます。また旋律と和音を指導者と学生達、あるいはヘッドフォンを用いて学生のペアによるアンサンブル方式で弾かせることも、集団授業におけるMLならではの活用方法です。

「従来の個人指導方式では、学生一人あたりの時間は約10～15分しか取れなかったのですが、MLによる集団指導では90分をフルに使えるだけでなく、学生の精神的負担も軽減され他の学生からの刺激で向上心が増すメリットもあります。それに模範演奏の鑑賞や多彩なソフートのアンサンブルも可能ですので、ML導入の効果は抜群といえま

すね」と語る斉藤教授。

その言葉通り、ほとんどが鍵盤楽器未経験者という「キーボード入門」に出席している学生たちの、楽しそうなそして熱心に学習する姿が印象的でした。



秋草学園短期大学【学校法人 秋草学園】

敬称略



小倉隆一郎教授

ヘッドホンを使って教授と コミュニケーションできる授業が人気

秋草学園短期大学は、昭和54年埼玉県所沢市に開学。「礼節」「勤勉」「協調」という教育方針の柱のもと、「愛され、信頼される女性」の育成を建学の理念としています。現在は、幼児教育学科、地域保育学科、日本文化表現学科、ビジネスマネジメント学科という4つの学科からなり、卒業後、生徒が社会に貢献できるフィールドへのスムーズな橋渡しを視野に入れ、教育やビジネスの即戦力として通用するカリキュラムが数多く組まれています。

特に教育系では平成13年に日本で初めて、エンゼルプラン(厚生省が掲げた、3歳児未満の保育所受け入れ枠の拡大、延長保育の増加計画)に基づいて地域保育学科が開設され、急速に進む少子化と女性の社会進出に向けて、母親に育児支援と共働き家庭のための心理学やカウンセリング、福祉の知識まで備えた新時代の保育士を育てています。

また幼児教育学科は、母体である「秋草保育専門学院」から専門教育と心の教育を受け継いだ伝統ある学科で、卒業生は就職先の幼稚園・保育所から高い評価を受けており、「幼教の秋草」と言われるほどです。

カリキュラムでは、ピアノや音楽表現といった音楽に関する授業が充実しており、なかでもヘッドホンを使って教授とコミュニケーションできるMLシステムを採用したピアノレッスンが人気の授業とのこと。ピアノ初心者でも丁寧に指導してもらえるため、授業で少しずつ弾けるようになるのが楽しいと学生にも評判です。

「授業をとっているすべての学生が90分間ピアノに触る権利を持っていますからね。平等にレッスンを受けることができる授業にしたかった」とMLの授業をご担当の小倉隆一郎教授。

「現在のMLシステムになったのは6年前。始めはグラビノーバ8台によるレッスンから出発しました。これでは限られた授業時間で全員の学生に指導することは困難です。そこで打開策として、思い切って学生用の子機となる48台のグラビノーバと、それらをモニターするための親機1台を設置したんです」と当時を振り返ってくださいました。

48名の学生を 2人の教員でサポートできるMLシステム

こうして1人の教員が48人の学生を同時に指導する授業が可能になり、授業内容も従来の教則本に基づいて行うピアノの個人レッスンとは異なった指導が実現。しかし、実際には90分という短い時間内で1人の教員が指導できるのは、せいぜい20名程度が限度だったそうです。そこで今年の4月から親機をもう1台導入、2人の教員が2台の親機で24名ずつ学生のレッスンをモニターし、指導する体制を作りました。

授業の内容も、幼稚園や保育園での現場実習では、子供たちが喜ぶヒット曲やアニメソングなどはコード譜で演奏する曲が多いため、卒業後のことを見据え、より実践的な「弾き歌い」の能力を伸ばすことに力を入れる方向にシフトしました。年々厳しくなる女性の就職率のなかで、学生たちのニーズが現場ですぐ役立つもの、採用実技試験対策に役立つものを、と変わってきたのも授業内容を見直す一因になったとのこと。

「ML導入とカリキュラムの見直しによって、学生がピアノに触ってられる時間が格段に増え、90分間フルタイムで全員に指導が行き届くようになってから、学生の能力も着実にアップしていることがわかるんですよ」と小倉教授。

「今後は、MLがよりシステムティックになることに期待しているんです。MLのシステムが完全なコンピュータ制御になれば、親機からの出欠データを管理することができるでしょうし、親機から子機の音色を一斉に変えたり、MIDIデータのやりとりができるようになれば、授業の形もまた変わってしまふでしょうね。」

このように小倉教授はMLの将来像について力強く語ってくださいました。



短調の三和音と属七

小山 恭弘

今回は、短調の三和音と属七がテーマです。

子供の歌はなぜか短調が少ないようです。南方の国々では殆どが長調ですし、ヨーロッパの子供曲も長調が多いようです。

しかし、北欧、東欧、ロシア、スペインなどでは、多くの短調の曲があります。中には、長調と短調の混合曲もかなりあります。一方、我が国では、わらべ歌などに短調(陰旋法)が多く見られます。

子供が歌う曲の長調、短調の数の違いは世界でどんな分布になっているのか、その理由は…等、大変興味深い問題です。読者諸氏で詳しい方がいらしたら、ぜひ教えて頂きたいものです。

コード理論で短調を扱う場合、一般には和声的短音階及び自然的短音階を基本とします。

旋律的短音階は、借用和音、経過音の章で詳しく扱う予定です。

各譜例はSibelius2日本語版で作成しました。

八短調では以下のコードが成立する

Cm Dm⁵ E^b Fm G G⁷ A^b Bm⁵

Dm⁵, Bm⁵は減5の和音です。

コード進行例

譜例1

Cm Dm⁵ G Cm Fm Dm⁵ E^b A^b Dm⁵ G⁷ Cm Fm Cm

c: I II V I IV II III VI II V7 I IV I

譜例2

Cm Dm⁵ G Cm A^b E^b Fm G⁷ Cm * A^b E^b G G⁷ Cm

c: I II V I VI III IV V7 I VI III IV V7 I

*同一和音は跳躍できる。

野いちご

フィンランドの子供達に歌われている曲です。

コード伴奏 左手はコードを押さえるのが主な役割です。

フィンランド民謡

Andante

Dm Gm Dm Dm B^b A

d: I IV I I VI V

Dm Gm Dm B^b A⁷ Dm

I IV I VI V7 I

リズム伴奏 ごく一般的な伴奏形です。

Dm Gm Dm Dm B^b A

Dm Gm Dm B^b A⁷ Dm

対立的伴奏 左手を対位的に扱うという少し変わった方法です。このメロディーは、分散和音の伴奏形が向ききなので、この方法を考えました。

Dm Gm Dm Dm B^b A

Dm Gm Dm B^b A⁷ Dm

譜例3

Cm Fm G⁷ Cm A^b Dm⁵ G

c: I IV V7 I VI II V

a, bは同コードの伴奏例です。

M L N E W S

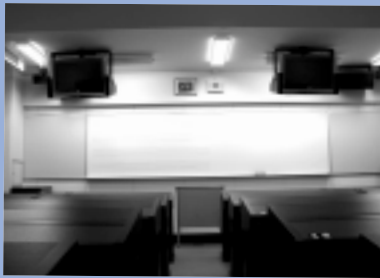
最近のML納入校のご紹介

敬称略



高知学園短期大学【学校法人 高知学園】

所在地	高知県高知市
納入時期	平成15年3月
システム内容	指導者用楽器 クラビノーバ CVP-209 調整卓 MLC-2B 学生用楽器 クラビノーバ MLP-71D × 37台
周辺機器	DSP-AVアンプ カセットデッキ CDプレーヤー



大阪信愛女学院短期大学【学校法人 大阪信愛女学院】

所在地	大阪市城東区
納入時期	平成15年3月
システム内容	指導者用楽器 クラビノーバ MLP-71D 調整卓 MLC-2A 学生用楽器 クラビノーバ MLP-71D × 20台
周辺機器	DSP-AVアンプ MDプレーヤー CCDカメラ



茨城女子短期大学【学校法人 大成学園】

所在地	茨城県那珂郡那珂町
納入時期	平成15年3月
システム内容	指導者用楽器 クラビノーバ CVP-205 調整卓 MLC-2B 学生用楽器 デジタルピアノ J-7000 × 48台

ヤマハMLショールームのご案内

MLショールームは6台のMLシステムを設置しており、調整卓、教材提示器テレビモニター等の体験ができます。皆様方のご来店をお待ち申し上げます。MLシステム設置のご検討相談から新規導入設置後までの総合的な窓口としてご活用下さる様にご案内申し上げます。



編集室より

本誌に関するご意見・ご要望をお寄せ下さい。また、先生方のML活用法や情報、アイデア等をお待ちしております。また、MLに関するご質問やお悩みのご相談等もお受けいたします。

発行:ヤマハ株式会社 管弦打学校営業統括部 企画推進室
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL.03(5488)1686 FAX.03(5488)5087
E-mail:education@post.yamaha.co.jp
<http://www.yamaha.co.jp/product/ml/>